

証明可能性の構造的理解に向けて

圏論的アプローチ

池田 侑登（東京大学大学院数理科学研究科）

2025/10/17

数学基礎論若手の会 2025 @ 群馬県前橋市，国立赤城青少年交流の家

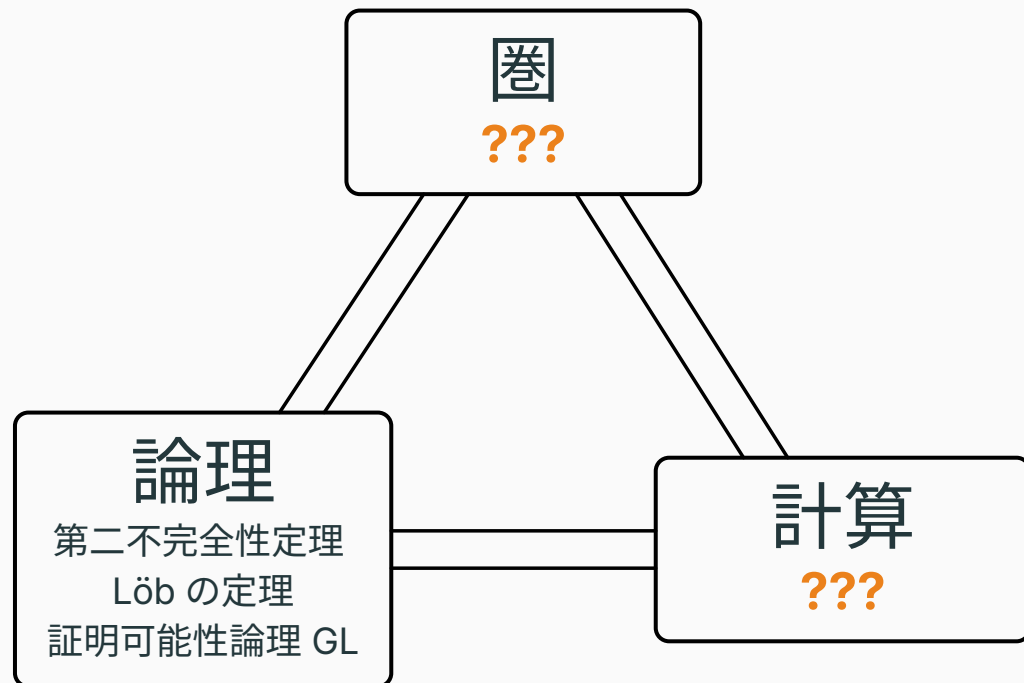
研究目標

(目標)

- 証明可能性に対する Curry-Howard-Lambek 対応の確立.
- 第二不完全性定理 (G2) の鍵である、**理論を理論内部で記述する**構造まで含めた対応を作る.

(期待)

- 第二不完全性定理の理解の深化.
- ロジックと CS の知見の融合.



1. Joyal の G_2 の圏論的解釈
2. Ramesh の内省的理論
3. Kavvos の双文脈計算 DGL
4. まとめと展望

1. Joyal の G_2 の圏論的解釈

第二不完全性定理の内包性

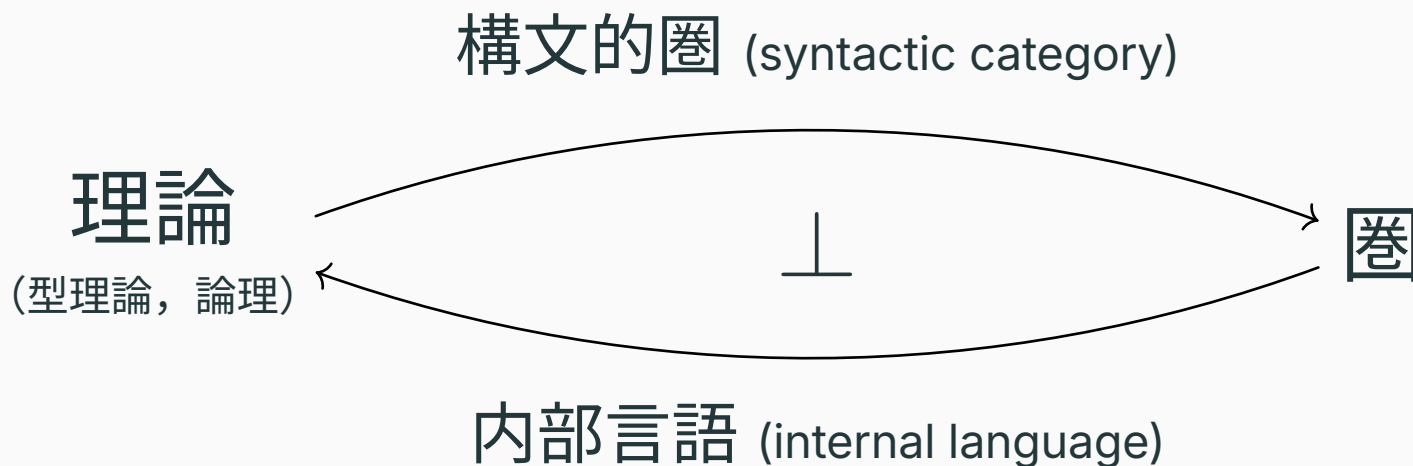
第二不完全性定理 (G2) の成否は，以下に繊細に依存する (Cheng 2021)．

- 証明可能性述語の選択，
- 無矛盾性を表現する論理式の選択，
- Gödel 数による符号化の選択，
- etc.

Cheng (2021) はこれを G2 の **内包性 (intensionality)** と呼ぶ．

→ G2 のうち，表現の選択に依存しない議論の「核」を分離したい．

圏論的論理学の基本定律：理論と圏の対応

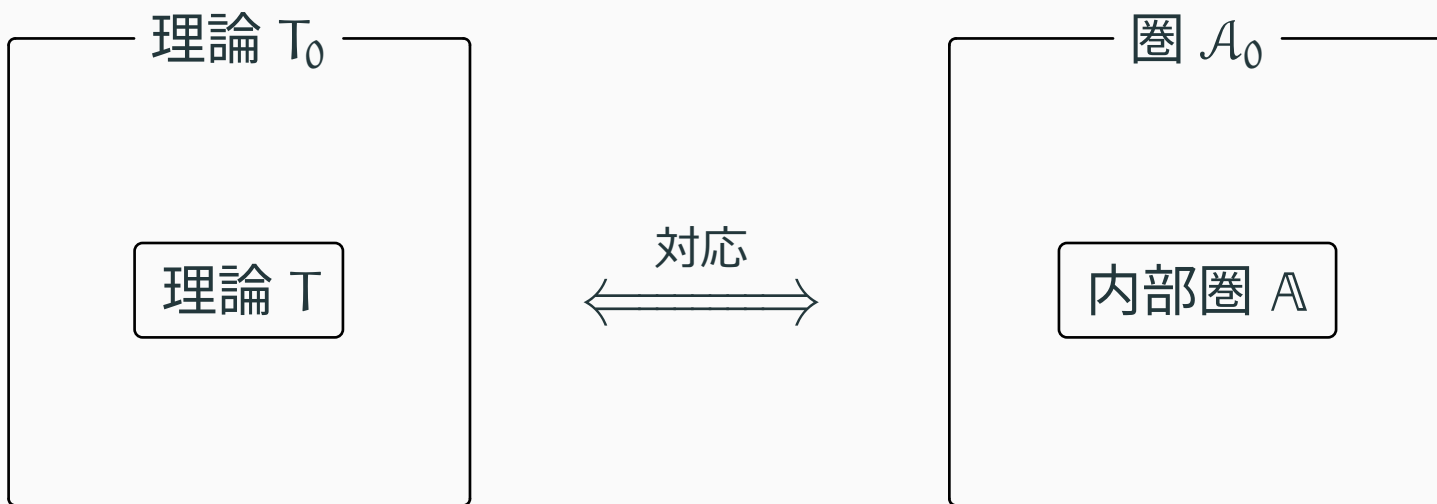


- 内部言語は，圏を調べるのに有用な形式言語を提供する．
- 構文的圏は，記号や公理の表現の選択に依存しない，理論そのものに内在的な構造を抽出できる (Lawvere 1963)．

→ G2 を圏論的に解釈し，表現の選択に依存しない構造を抽出できないか？

Joyal による G2 の圏論的解釈

1973 年, Joyal は G2 の特別な場合の圏論的証明を発表 (未出版).
本節の内容は van Dijk & Gietelink Oldenziel (2020) に基づく. Joyal (2005) も参照.



- 「理論内部における理論の記述」が **内部圏** に対応.
- 必要な内部圏が作れる圏として **算術的宇宙 (arithmetic universe)** を導入.
- 証明可能性や G2 の圏論的対応物を構成.

内部圏

引き戻しを持つ圏 \mathcal{B} について、 \mathcal{B} の内部圏 (internal category) の概念がある。 \mathcal{B} の内部言語で見ると通常の圏となるようなもの。

例 集合の圏 \mathbf{Set} の内部圏とは小圏のことである。

定義 (外面化) 圏 \mathcal{B} が終対象 1 を持つとする。このとき、 \mathcal{B} の大域切断関手 $\Gamma_{\mathcal{B}} = \text{Hom}_{\mathcal{B}}(1, -) : \mathcal{B} \rightarrow \mathbf{Set}$ は、 \mathcal{B} の内部圏 \mathcal{C} を小圏に移す。こうして得られる圏を $\text{Ext}(\mathcal{C})$ と書き、 \mathcal{C} の外面化 (externalization) という。

通常の圏論と同じ理論が、内部圏でもある程度展開できる。たとえば、

- 内部圏 \mathcal{C} における極限・余極限。
- 内部圏 \mathcal{C} が終対象を持つとき、 \mathcal{C} の大域切断関手 $\Gamma_{\mathcal{C}} : \text{Ext}(\mathcal{C}) \rightarrow \mathcal{B}$ 。

算術的宇宙はのちに次のように公理化された (Morrison 1996), (Maietti 2010).

定義 (算術的宇宙) 算術的宇宙 (arithmetic universe) は, パラメータ付きリスト対象 (parameterized list object) をもつ前トポス (pretopos) のこと.

算術的宇宙のうち始 (initial) なものを \mathcal{A}_0 と書く.

- \mathcal{A}_0 の内部言語で, 構文的圏の構成ができる.
 - ▶ \mathcal{A}_0 の内部から見て算術的宇宙になっている内部圏 \mathbb{A} が構成できる.
- \mathcal{A}_0 は **冪対象を持たない**. 特に内部言語は $\rightarrow, \neg, \forall$ を持たない.

証明可能性の解釈

\mathcal{A}_0 の内部から見て算術的宇宙になっている内部圏 \mathbb{A} をひとつ固定する。

命題 $\text{Ext}(\mathbb{A})$ は算術的宇宙である。

定義 算術的宇宙の構造を保存する一意な関手 $\ulcorner _ \urcorner : \mathcal{A}_0 \rightarrow \text{Ext}(\mathbb{A})$ を取る。
このとき、 \mathcal{A}_0 上の自己関手 \square を $\Gamma_{\mathbb{A}} \circ \ulcorner _ \urcorner$ で定める。

$$\ulcorner _ \urcorner : \mathcal{A}_0 \rightarrow \text{Ext}(\mathbb{A})$$

Gödel 数 $\varphi \mapsto \overline{\ulcorner \varphi \urcorner}$

$$\Gamma_{\mathbb{A}} : \text{Ext}(\mathbb{A}) \rightarrow \mathcal{A}_0$$

証明可能性述語 $\text{Pr}(x)$

$$\square = \Gamma_{\mathbb{A}} \circ \ulcorner _ \urcorner : \mathcal{A}_0 \rightarrow \mathcal{A}_0$$

証明可能性の様相 $\square\varphi \equiv \text{Pr}(\overline{\ulcorner \varphi \urcorner})$

補題 (Σ_1 完全性) 自然変換 $\eta : \text{id}_{\mathcal{A}_0} \Rightarrow \square$ が自然に構成できる.

$$\begin{array}{ccc} \mathcal{A}_0 & \xrightarrow{\text{id}_{\mathcal{A}_0}} & \mathcal{A}_0 \\ & \searrow \lceil _ \rceil & \nearrow \Gamma_{\mathbb{A}} \\ & \text{Ext}(\mathbb{A}) & \end{array} \quad \begin{array}{c} \Downarrow \eta \\ \Downarrow \end{array}$$

\mathcal{A}_0 が冪対象を持たないことが本質的. 論理的には, \mathcal{A}_0 の内部言語が \forall を持たない. 圏論的には, コンマ圏の射影 $(\text{id}_{\mathcal{A}_0} \downarrow \Gamma_{\mathbb{A}}) \rightarrow \mathcal{A}_0$ が冪を保存しない.

定理 (G2 の圏論的類似, Joyal) \mathcal{A}_0 の始対象 \perp について, $\square \perp \neq \perp$.

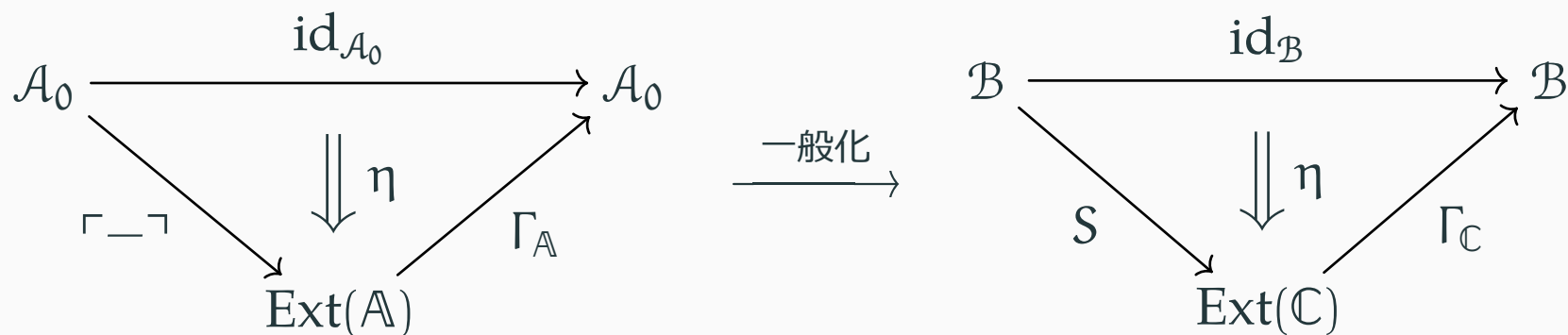
2. Ramesh の内省的理論

内省的理論

Ramesh (2023) は, Joyal の枠組みを大きく一般化した構造を提案した.

定義 (Ramesh) 内省的理論 (introspective theory) は次のデータからなる.

- 有限極限を持つ圏 \mathcal{B} ,
- \mathcal{B} の内部圏 \mathcal{C} であって, 内部圏の意味で有限極限を持つもの,
- 有限極限を保存する関手 $S : \mathcal{B} \rightarrow \text{Ext}(\mathcal{C})$,
- 自然変換 $\eta : \text{id}_{\mathcal{B}} \Rightarrow \Gamma_{\mathcal{C}} \circ S (=: \square)$.



内省的理論の Löb の定理

内省的理論を単に $\langle \mathcal{B}, \mathcal{C} \rangle$ で表す. $\Box = \Gamma_{\mathcal{C}} \circ S$ について以下が成立.

定理 (内省的理論の Löb の定理, Ramesh) $\langle \mathcal{B}, \mathcal{C} \rangle$ を内省的理論とする. \mathcal{B} の終対象 1 について, 唯一の射 $! : \Box 1 \rightarrow 1$ は始 \Box -代数である.

$$\begin{array}{ccc} \Box 1 & \xrightarrow{!} & 1 \\ \square f \downarrow & & \downarrow f \\ \Box P & \xrightarrow{\forall} & P \end{array} \quad \left(\frac{\Box P \vdash P}{\vdash P} \right)$$

- $P = \perp$ とおくと G2 に対応.
- 従来の算術的宇宙の証明では, 自然数対象による論理式の数え上げを使う. Ramesh は自然数対象の使用を回避した.

内省的理論の例 1

例（算術的宇宙） $\langle \mathcal{A}_0, \mathbb{A} \rangle$ は内省的理論の構造をもつ.

例（算術の理論） T を Peano 算術 PA を含む一階の算術の理論とする.
 PA から構文的に圏 \mathcal{B}_{PA} を作り, T から構文的に \mathcal{B}_{PA} の内部圏 \mathcal{C}_T を作って,
内省的理論 $\langle \mathcal{B}_{PA}, \mathcal{C}_T \rangle$ が構成できる.

内省的理論の例 2 : Kripke フレーム

例 P を整礎な半順序集合とする。このとき、 P 上の前層圏 $\text{PSh}(P)$ について、ある充満部分圏 $\text{PSh}_k(P) \subseteq \text{PSh}(P)$ とその内部圏 $\text{PSh}_k(|P|_{<\bullet})$ がとれて、内省的理論 $\langle \text{PSh}_k(P), \text{PSh}_k(|P|_{<\bullet}) \rangle$ が作れる。

$X \in \text{PSh}_k(P)$ について $\Box X$ を計算すると、

$$\Box X(p) = \prod_{q < p} X(q).$$

- Kripke 意味論における、 P の逆順序上での \Box の解釈と一致。
- 証明可能性論理 GL のフレームと、 P の整礎性の仮定が対応。
 - ▶ Kripke フレーム $\langle W, R \rangle$ が GL のモデル $\iff R$ は推移的かつ逆整礎。

内省的理論のこれから

内省的理論の枠組みはまだ提唱されて間もなく，様々な研究課題がある。

問題 自然数対象を使わない Löb の定理の証明を，通常の論理学の言葉で解釈するとどうなるか？

問題 ロジックや CS 以外の分野であらわれる内省的理論の例はあるか？

3. Kavvos の双文脈計算 DGL

証明可能性論理 GL に対する Curry–Howard–Lambek 対応として、Kavvos は双文脈計算 (dual-context calculi) DGL を提案した (Kavvos 2020a).

- 型付き λ 計算に型構成子 \Box を追加.
- 公理 GL に対応する $\Upsilon_A : \Box(\Box A \rightarrow A) \rightarrow \Box A$ が作れる.

DGL の計算的側面：

- Church–Rosser 性，強正規化性.
- Υ_A を内包的 (intensional) 不動点コンビネータと見れる (Kavvos 2020b).
 - ▶ $\Box A$ を「型 A を持つプログラムのコードの型」と読む.
 - ▶ 自身のコードを参照する再帰的なプログラムの構成.

DGL の圏論的モデルとして次が提案されている (Kavvos 2020a).

定義 Gödel-Löb 圏 (Gödel-Löb category) は次のデータからなる.

- デカルト閉圏 \mathcal{C} ,
- 有限直積を保つ自己関手 $\Box : \mathcal{C} \rightarrow \mathcal{C}$,
- 自然変換 $\delta : \Box \Rightarrow \Box \circ \Box$ であって $(\delta \Box) \circ \delta = (\Box \delta) \circ \delta$ を満たすもの,
- 各 $A \in \mathcal{C}$ について $Y_A : \Box(A^{\Box A}) \rightarrow \Box A$ は次を可換にする射.

$$\begin{array}{ccc}
 \Box(A^{\Box A}) & \xrightarrow{\langle \text{id}, \Box Y_A \circ \delta_{A^{\Box A}} \rangle} & \Box(A^{\Box A}) \times \Box \Box A \cong \Box(A^{\Box A} \times \Box A) \\
 \downarrow Y_A & & \swarrow \Box(\text{ev}) \\
 \Box A & &
 \end{array}$$

Gödel-Löb 圏は, Löb の定理に対応する Y_A の存在を公理的に要請している.

Ramesh の内省的理論は, 内部圏を用いて, $G2$ の「理論内部で理論を記述する」構造まで含めて反映している点で優れている.

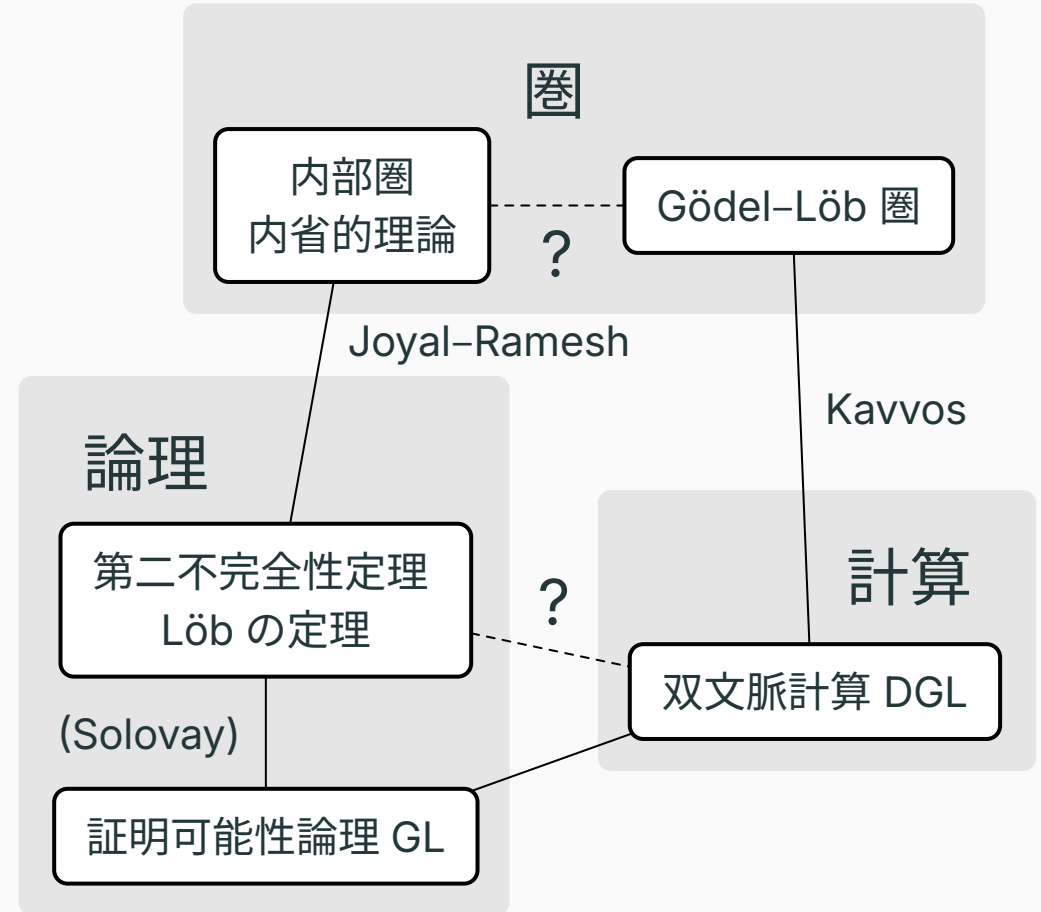
問題 内省的理論 $\langle \mathcal{B}, \mathcal{C} \rangle$ から Gödel-Löb 圏 $\langle \mathcal{C}, \square \rangle$ を作れるか?

注. \mathcal{B} は典型的には冪を持たない.

4. まとめと展望

まとめと展望

- Joyal や Ramesh の枠組みは，不完全性定理で重要な「理論の理論内部での記述」を内部圏を用いて捉えた。
- Kavvos は GL の CHL 対応を確立し，証明可能性論理に計算的な意味付けを与えた。
- 圏を通して両者を接続し，ロジックや不完全性定理に特有の構造と，計算的な構造をつなげたい。
- この対応は，不完全性定理の更なる理解にも資すると期待される。



- Cheng, Yong. 2021. “Current Research on Gödel's Incompleteness Theorems”. *The Bulletin of Symbolic Logic* 27 (2): 113–67. <https://doi.org/10.1017/bsl.2020.44>.
- Dijk, Joost van, and Alexander Gietelink Oldenziel. 2020. “Gödel Incompleteness Through Arithmetic Universes After A. Joyal”. arXiv. April 22, 2020. <https://doi.org/10.48550/arXiv.2004.10482>.
- Joyal, André. 2005. “The Gödel Incompleteness Theorem, A Categorical Approach”. *Cahiers De Topologie Et Géométrie Différentielle Catégoriques* 46 (3): 202. http://www.numdam.org/item/CTGDC_2005__46_3_163_0/.
- Kavvos, G. A. 2020a. “Dual-Context Calculi for Modal Logic”. *Logical Methods in Computer Science*, August, 4740. [https://doi.org/10.23638/LMCS-16\(3:10\)2020](https://doi.org/10.23638/LMCS-16(3:10)2020).
- Kavvos, G. A. 2020b. “Intensionality, Intensional Recursion, And the Gödel-Löb Axiom”. arXiv. June 13, 2020. <https://doi.org/10.48550/arXiv.1703.01288>.
- Lawvere, F. William. 1963. “Functorial Semantics of Algebraic Theories”. Ph.D. dissertation, Columbia University.
- Maietti, Maria Emillia. 2010. “Joyal's Arithmetic Universe as List-Arithmetic Pretopos”. *Theory and Applications of Categories* 24. <https://doi.org/10.70930/tac/qee78enb>.
- Morrison, Alan. 1996. “Reasoning in Arithmetic Universe”. MSc dissertation, University of London.
- Ramesh, Sridhar. 2023. “Introspective Theories and Geminal Categories”. Ph.D. dissertation, UC Berkeley. <https://escholarship.org/uc/item/3mn0c475>.

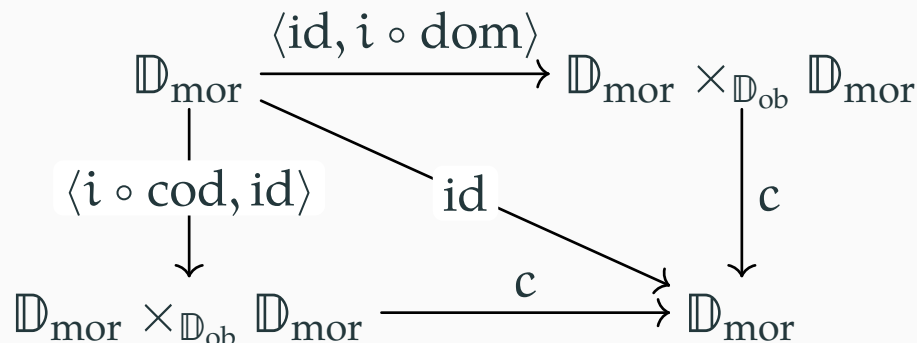
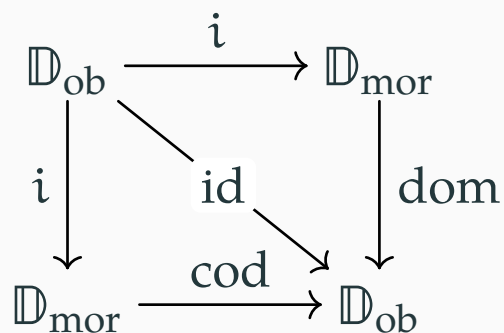
補遺

定義 (内部圏) 引き戻しを持つ圏 \mathcal{B} の内部圏 (internal category) \mathcal{C} とは,
 \mathcal{B} の対象 $\mathcal{C}_{\text{ob}}, \mathcal{C}_{\text{mor}}$ と, \mathcal{B} の射

- $\text{dom}, \text{cod} : \mathcal{C}_{\text{mor}} \rightarrow \mathcal{C}_{\text{ob}},$
- $i : \mathcal{C}_{\text{ob}} \rightarrow \mathcal{C}_{\text{mor}},$
- $c : \mathcal{C}_{\text{mor}} \times_{\mathcal{C}_{\text{ob}}} \mathcal{C}_{\text{mor}} \rightarrow \mathcal{C}_{\text{mor}}.$

からなり, 通常圏の公理に対応する可換図式をすべて満たすものである.

(図式の例)



Σ_1 完全性と Freyd 被覆

補題 $\text{id}_{\mathcal{A}_0} : \mathcal{A}_0 \rightarrow \mathcal{A}_0$ と $\Gamma_{\mathbb{A}} : \text{Ext}(\mathbb{A}) \rightarrow \mathcal{A}_0$ から作られるコマ圏 $\text{id}_{\mathcal{A}_0} \downarrow \Gamma_{\mathbb{A}}$ を考える (内部圏 \mathbb{A} の Freyd 被覆). このとき射影 $\pi_0 : (\text{id}_{\mathcal{A}_0} \downarrow \Gamma_{\mathbb{A}}) \rightarrow \mathcal{A}_0$, $\pi_1 : (\text{id}_{\mathcal{A}_0} \downarrow \Gamma_{\mathbb{A}}) \rightarrow \text{Ext}(\mathbb{A})$ はともに算術的宇宙の構造を保存する.

π_0 が冪を保たないため, \mathcal{A}_0 が冪対象を持たないことが本質的である.

この補題から, 自然変換 $\eta : \text{id}_{\mathcal{A}_0} \Rightarrow \square$ が以下で定まる.

$$\begin{array}{ccc}
 \mathcal{A}_0 & \xrightarrow{\text{構造保存関手}} & (\text{id}_{\mathcal{A}_0} \downarrow \Gamma_{\mathbb{A}}) & \xrightarrow{\pi_0} & \mathcal{A}_0 \\
 \text{---} \searrow \Gamma_{-\neg} & \Downarrow & \downarrow \pi_1 & \Downarrow & \downarrow \text{id}_{\mathcal{A}_0} \\
 & & \text{Ext}(\mathbb{A}) & \xrightarrow{\Gamma_{\mathbb{A}}} & \mathcal{A}_0
 \end{array}
 =
 \begin{array}{ccc}
 \mathcal{A}_0 & \xrightarrow{\text{id}_{\mathcal{A}_0}} & \mathcal{A}_0 \\
 \text{---} \searrow \Gamma_{-\neg} & \Downarrow \eta & \nearrow \Gamma_{\mathbb{A}} \\
 & \text{Ext}(\mathbb{A}) &
 \end{array}$$

内省的理論の例： ω 上の前層圏

自然数を順序集合とみたものを ω と書く．前層圏 $\text{PSh}(\omega)$ の内部圏は， ω 上の小圏の前層 $\omega^{\text{op}} \rightarrow \mathbf{Cat}$ と等価．そこで

$$\text{PSh}(\omega_{<\bullet}) : \omega^{\text{op}} \rightarrow \mathbf{Cat}, n \mapsto \text{PSh}(\omega_{<n})$$

を $\text{PSh}(\omega)$ の内部圏とみなしたい．しかし $\text{PSh}(\omega_{<n})$ は小圏にならない．

そこでサイズの制限を導入する．基数の列 $(\kappa_n)_{n \in \omega}$ を次のように再帰的に取る：

各 $m < n$ について κ_m が定まっているとする．充満部分圏 $\text{PSh}_{\kappa}(\omega_{<n}) \subseteq \text{PSh}(\omega_{<n})$ を， $X \in \text{PSh}_{\kappa}(\omega_{<n}) : \iff \forall m < n, X(m) \in \kappa_m$ で定める．
 $\text{PSh}_{\kappa}(\omega_{<n})$ は小圏なので，そのサイズが κ_n に収まるように κ_n を取る．

充満部分圏 $\text{PSh}_{\kappa}(\omega) \subseteq \text{PSh}(\omega)$ を $X \in \text{PSh}_{\kappa}(\omega) : \iff \forall n \in \omega, X(n) \in \kappa_n$ で定める．
このとき $\text{PSh}_{\kappa}(\omega_{<\bullet}) : \omega^{\text{op}} \rightarrow \mathbf{Cat}$ は $\text{PSh}_{\kappa}(\omega)$ の内部圏とみなせる．

内省的理論の例： ω 上の前層圏

例 $\langle \text{PSh}_k(\omega), \text{PSh}_k(\omega_{<\bullet}) \rangle$ は内省的理論の構造をもつ。

$X \in \text{PSh}_k(\omega)$ について $\Box X$ を計算すると

$$\Box X(0) = \{*\}, \quad \Box X(n+1) = X(n)$$

となっている。

これはガード付き再帰 (guarded recursion) の $\text{PSh}(\omega)$ を用いたトポスの意味論におけるガード \blacktriangleright の解釈と一致する。ガード付き再帰の理論では Löb 帰納法と呼ばれるスキーマ $(\blacktriangleright A \rightarrow A) \rightarrow A$ が知られている。